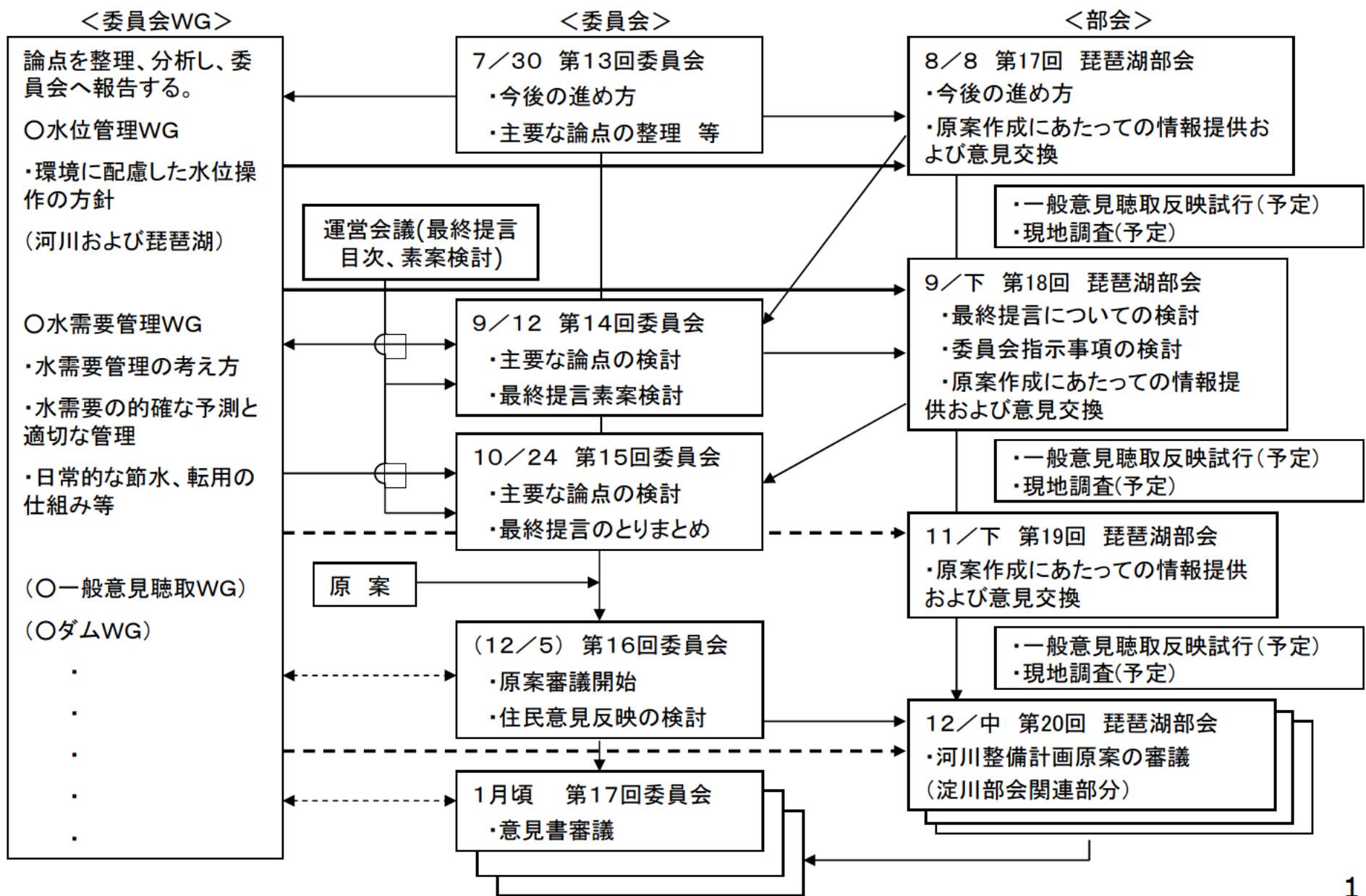


今後の琵琶湖部会の進め方について



琵琶湖部会WG(論点別検討班)の発足

●一般意見聴取・反映を考えるWG

・前回部会(7/4開催)にて、琵琶湖部会として一般意見聴取・反映について検討する班(WG)を設立することが決定した。

・メンバー案(前回部会での一任を受けて部会長と部会長代理が相談された結果、以下のメンバー案となっている。8/8部会にて確定する)

三田村委員、嘉田委員、村上委員、仁連委員

●最終提言の文章を調整し、推敲するWG

・2名程度のメンバーとする。8/8部会にて部会長より要請する。

委員会WGへの推薦

(7/30委員会にて、水位管理WG、水需要管理WGに続いて新たに一般意見聴取WGとダムWGが設立されることが決まった。メンバー構成は部会横断的なものとし、いずれも部会からの推薦を受けて運営会議にて決定されることになった)

●ダムWGへの推薦(案)

江頭委員、倉田委員、寺川委員

●一般意見聴取WGへの推薦(案)

三田村委員、村上委員、仁連委員

* 部会WGメンバーである嘉田委員については、「8月中不在とのことなので、間に合う場合にはメンバーとして推薦したい」と申し入れた結果、委員長の判断により設立メンバーには加えず、嘉田委員が帰国された9月上旬に再度検討することとなった。

●水需要管理WGのメンバー追加について

水需要WGにて水質についても検討されることになったため、水質の専門家である宗宮委員を推薦し、芦田委員長、今本リーダーより了承された。

琵琶湖部会「一般意見聴取反映の試行」および「現地調査」について

参加者が少なく部会として成立しない場合にも部会主催の有志の会として実施する方向で考える。

<一般意見聴取反映の試行>

- ・一般意見聴取反映を考えるWGが主体的に計画する。

<現地調査>

- ・提案に応じて検討するが基本的に提案者が主体的に行う。

*これまでの現地視察

第2回部会(H13.6.8) 丹生ダム建設予定地とその下流を中心に視察。

第3回部会(H13.6.25) 瀬田川洗堰、直轄河川を中心に視察。

第7回部会(H13.11.20) 琵琶湖に流入する河川として安曇川を中心に源流まで視察。
住民の方との意見交換実施。

第14回部会(H14.6.4) 丹生ダム建設予定地の上流を視察。住民の方との意交換実施。

*今後の現地視察について

視察場所の案:

- ・瀬田川洗堰から淀川下流まで
- ・琵琶湖湖辺
- ・丹生ダムを再訪(寺川委員案。次頁内容を参照ください) など

寺川委員からの提案内容

<6.17琵琶湖部会における発言の補足>

2002.8.1 委員 寺川 庄蔵

姉川・高時川現地調査No.3の実施について

姉川・高時川は、これまでに2回現地視察を行なったが、ダムサイト周辺から鷺見までの区間が、道路工事中などの理由で視察できなかった。しかし、この地点がダム湖の最深部になるほか、工事用道路建設などが実際に行われている最も核心部分とも言えるところであり、濁水等の発生が指摘されている地点でもある。

琵琶湖部会としては、丹生ダム計画について、地質、あるいは活断層等の問題もあり、今後検討を重ねて具体的な見直し方向を出す責任があるが、そのためには、この範囲についてはどうしても視察をしておく必要がある。

部会として行なうのが好ましいが、日程的に厳しい面もあり、困難な場合は委員有志で視察を行ない、部会でその結果を報告するという方法も考えられる。

琵琶湖部会としては、9月の予定が入っていないので計画してはどうか。

<実施にあたっての検討課題>

- ・視察団には地質および活断層に詳しい専門家を加える。
- ・一般参加の車等の確保。
- ・日時。
- ・コース。
- ・住民等との話し合いを入れるか。

以上